

Fintech 特許紹介(9)
マルチ金融口座認証方法

2017年3月7日
河野特許事務所
所長 弁理士 河野 英仁

マルチ金融口座認証方法

米国公開番号 US2014/0236792 出願人 YODLEE, INC

本特許は2013年2月21日に出願された。本発明は仲介となる収集サーバが、複数の金融機関からの認証を経たうえで、複数の金融機関からユーザの金融情報を収集するシステムである。

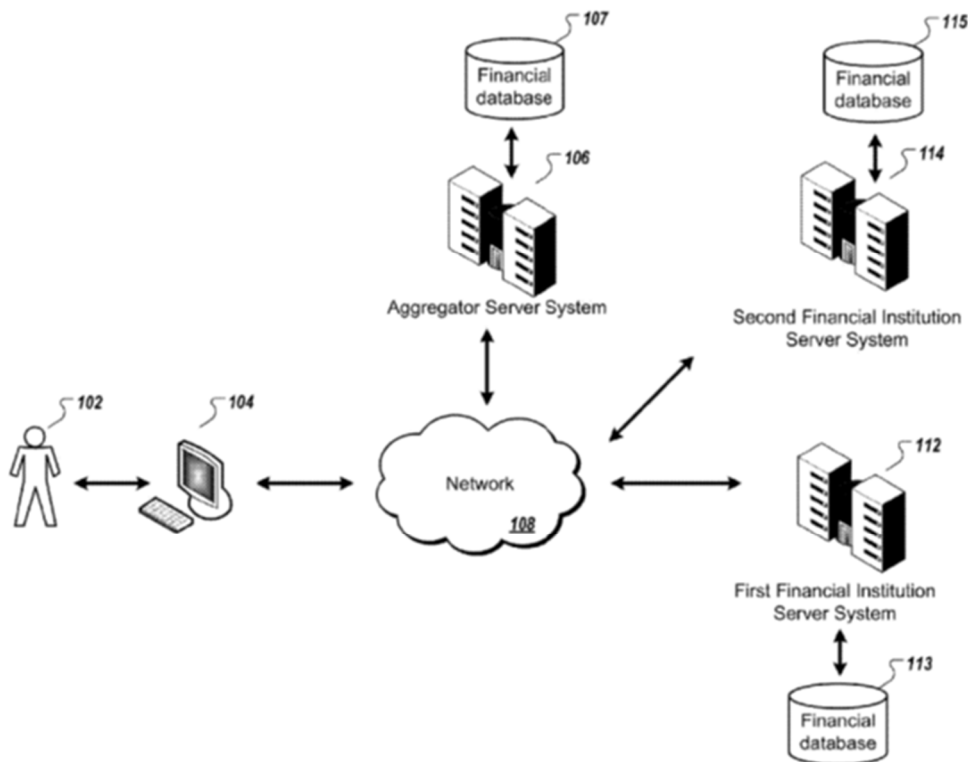


FIG. 1

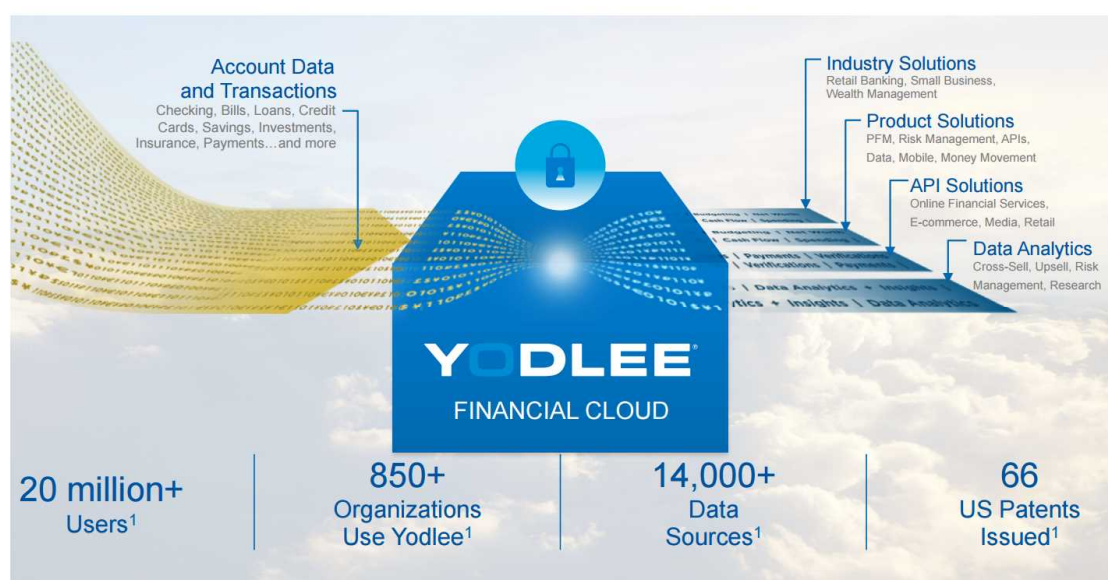
ユーザ 102 はコンピュータ 104 を通じて、自身が口座を有する金融機関サーバ 112 を利用するが、本発明では仲介収集サーバ 106 を介して利用する。金融機関サーバ 112 は、仲介サーバ 106 を通じて送信されたユーザ 102 のログイン ID 及びパスワードの認証を行う。

認証に成功した場合、金融機関サーバ 112 はトークンを発行する。仲介収集サーバ 106 は、以降トークンを用いて、金融機関サーバ 112 との間で処理を仲介する。仲介収集サーバ 106 の Web ページは、金融機関サーバ 112 のロゴ、色等、本物の金融機関と同じ Web ページを生成する。

仲介収集サーバ 106 は認証成功后、ログイン ID 及びパスワードを記憶しておく。これにより、次回以降の取引における認証が容易になる。仲介収集サーバ 106 は、他の金融機関サーバ 114 にも同様の処理を行う。このように、ユーザは仲介収集サーバ 106 一か所にアクセスするだけで、複数の金融機関サーバでの照会・取引が可能となる。

つまりユーザが複数の銀行口座を有する場合、各銀行が提供する Web ページまたはアプリを通じて個別にアクセスする必要があったが、本発明によれば一つのポータルで複数の銀行サイトに対する処理が可能となる。

本発明ではさらにセキュリティを強化すべく、トークンのレベル設定を行うことができる。例えばトークンの有効期間を 1 日、1 週間と設定することができ、またトークンに取引レベルを設け、口座情報照会のみ、あるいは、振込まで可能とさせる等、セキュリティポリシーに応じて柔軟に対応させることができる。そしてトークン有効期限が切れた場合、再度ユーザにログイン ID、パスワードの入力を要求し、認証に成功した場合、新たにトークンを発行するというものである。



YODLEE 社は 1999 年に創業され、900 社以上のパートナー企業、2000 万人以上の有料ユーザに金融クラウドサービスを提供している。また特許に対しても積極的に取り組ん

でおり、既に米国で 66 件の成立特許を保有している。2015 年 8 月には、米国 Envestnet 社が 5.9 億ドルもの額で YODLEE 社を買収した。

以上